

目次

日本情報考古学会第28回大会開催の案内.....	1
大会研究発表の申込の案内.....	2
2010年度第1回理事会議事録.....	3
2010年度第2回理事会議事録.....	4
学会賞受賞者.....	4
日本情報考古学会第27回大会報告.....	4
2010年度シンポジウム報告.....	6
「情報考古学」の論文募集.....	6
事務局変更のお知らせ.....	6
会費納入のお願い.....	6
会報への広告掲載について.....	7
講演論文集バックナンバーのご案内.....	7

日本情報考古学会第28回大会

共立女子大学神田一ツ橋キャンパス開催 のご案内

日本情報考古学会第28回大会は、共立女子大学神田一ツ橋キャンパス(東京都千代田区一ツ橋)で開催いたします。日本情報考古学会における近年の動向を振り返ると、特にGISを用いた時空間情報から歴史現象にアプローチする方法について多くの研究成果を扱い、チュートリアルセミナーも含めて、さまざまな理論と実践について公開・発表してまいりました。今大会では「考古学研究におけるデジタルデータ活用への扉【データの取得・蓄積・統合・解析・活用】(仮題)」というテーマで特別講演2本を企画しています。遺跡の調査研究においてさまざまな形で記録されるデータのあり方について、データ取得から活用に至る技術や解析や活用の方法について、改めて具体的な事例を通じてご紹介したいと考えております。

これに合わせて、これまで通り“情報考古学”の一般講演を中心に大会を進めてまいります。一般講演につきましては、多くの学会員の方々のご参加・ご発表を心からお待ちしております。振るってご応募いただきますようお願い致します。

なお、会場となります共立女子大学神田一ツ橋キャンパス最寄駅周辺の宿泊施設情報については、別項の大会情報をご覧ください。多くの参加者の方々には関東方面からお越しいただくことになろうかと思いますが、遠方よりご参加いただく皆様にはネット検索等でより安価なホテルを探すことも可能かと思っております。お手数ですが各自でのご手配の程よろしく願いいたします。

—開催日程、概要など—

日時：2011年3月5日(土)、6日(日)

会場：共立女子大学神田一ツ橋キャンパス (本館510, 512番教室) 当日、本館1階ロビーに受付の机を設置いたしますので、そこで受付をした後に、5階へ来て下さい。

※なお、会場は当日変更の場合がございます。あらかじめご了承ください

研究発表の申込み締切 2011年1月15日(土)

講演論文集原稿の締切 2011年2月12日(土)

講演日程：

2011年3月5日(土) 一般講演(13:00開始)、特別講演(16:30頃開始)、懇親会(17:30~19:30)

2011年3月6日(日) 一般講演(10:00開始)、特別講演(13:00~14:00予定)

第 28 回大会実行委員長：共立女子短期大学 植木 武

(3/5 と 3/6 のみ 電話: 080-6702-7217)

大会実行委員会事務局：共立女子短期大学 植木 武

(3/4 日まで 電話: 03-3237-2524)



場所：東京都千代田区一ツ橋 2-2-1 共立女子大学（小学館隣、文科省学術総合センター隣、学生会館前）本館 5 階（会場 510 番教室、控え室 512 番教室）

《東京駅からのアクセス》

丸の内側出て右へ→地下鉄東西線「大手町」乗車→隣の「竹橋」下車 1b 出口から徒歩 5 分

懇親会： 3/5 (土) 17:30~19:30

懇親会費用： 3,000 円

宿泊情報：

神保町サクラホテル 個室 6929 円（徒歩 4 分）（注：すぐに満室となる）

KKR Hotel Tokyo 国家公務員 7,000~9,300 円 地方公務員 9,000~10,600 円、一般 10,000~11,600 円（徒歩 6 分）（皇居前）

学生会館 会員 8,600 円 一般 9,200 円（徒歩 20 秒）

グリーンホテル後樂園 個室 9,500 円（地下鉄 1 駅）

第 28 回大会一般研究発表の募集

多くの学会員の研究発表応募をお願いいたします。なお、お申し込みをいただきました内容につきましては、事務局ならびに大会実行委員会、理事会などを通じ、査読を実施し、採否の結果は、改めてご連絡申し上げます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

一般研究発表にお申し込みの方は、次の URL にアクセスの上、申し込み原稿フォーマットを参照して査読用原稿を作成ください。この査読用原稿の送付をもちまして、一般研究発表への申し込みとさせていただきます。また、同封いたしました別紙要項を参照いただいても結構です。

第28回大会での一般研究発表をご希望の方は、

- ・別紙要項に準じて査読用原稿を作成
- ・次の URL のフォーマットで査読用原稿を作成

のいずれかを、**電子メール、ファックス、郵送**のいずれかで次の申し込み先までお送り下さい。電子メールをご利用の方は、添付ファイルにて原稿をお送りください。

原稿フォーマットは、学会ホームページ

<http://www.archaeo-info.org/>

からダウンロードいただけます。

一般研究発表 申込先：

〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷1-3

同志社大学文化情報学部

情報考古学会事務局

Tel/Fax: 0774-65-7681

E-mail: mamuraka@mail.doshisha.ac.jp

申込〆切：2011年1月15日(土)

—一般研究発表と講演論文集について—

1)発表内容

遺物・遺構形状の計測技術、あるいはそれらのデータの計量分析、理化学的データの収集とその解析手法、考古学的事象をめぐるコンピュータ・シミュレーション、インターネットなど新たな通信基盤を介しての研究者間のデータ共有や共同研究をめぐる技術、多様な考古学的情報に関わる幅広い分野の学際的研究を募ります。

2)発表時間

質疑応答を含んで、発表1件当り30分を予定しています。(発表件数などによって変更することがありますのでご了承ください。)

3)講演論文集用の原稿提出

講演論文集原稿は、A4版で8～10枚程度です。原稿の枚数を厳守の上、偶数ページに収まるよう作成下さい。原稿作成の詳細につきましては、発表申し込みの採否の結果と併せて、申し込みをいただいた方々に改めてご連絡させていただきます。また、

<http://www.archaeo-info.org/>

からダウンロードいただけます。

また、講演論文集原稿には、必ず600字程度の要旨をつけて下さい。この要旨は、学会誌である『情報考古学』に大会発表報告として掲載されますので、あらかじめご了承のほどをよろしくお願いいたします。

講演論文集原稿提出先：

〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷1-3

同志社大学文化情報学部

情報考古学会事務局

Tel/Fax: 0774-65-7681

E-mail: mamuraka@mail.doshisha.ac.jp

原稿提出〆切：2011年2月12日(水) 必着

4)講演論文集の編集について

ご送付いただいた原稿を直接写真製版いたしますので、校正の機会はありません。完全原稿を御提出下さい。なお、提出された予稿の原稿は、原則として返却いたしません。予め各自でコピーを保存して下さい。

5)発表資格

発表者に一人以上の会員が含まれることが応募の条件となります。なお、特別セッションにつきましては、オーガナイザーのお一人に会員が含まれておりましたら、この限りではございません。

6)発表機材

OHPプロジェクタと液晶プロジェクタが利用できます。その他の機材が必要な方は、事務局に御相談ください。

2010年度第1回理事会議事録

日時：2010年3月27日

1. **報告** 会員数、2009年度会費納入率、バックナンバーの処理等について事務局より報告があった。

2. 審議事項

2. 1 会長選挙 次期(2010年～2012年)会長に植木武理事を選出した。

2. 2 事務局について 当面、学会事務局は同志社大学文化情報学部(村上研究室)に置くこととなった。

2. 3 第28回大会について 第28回大会は2011年3月26日(土)27日(日)に東京にて開催する。開催場所は東京大学あるいは同志社大学東京オフィスを予定。

2. 4 2010年度シンポジウムについて 2010年度のシンポジウムは10月1日に京都工芸繊維大学(シンポジウム責任者 宝珍輝尚)にて開催する。

2. 5 学会誌の発行回数について 2010年度は2号発行(2010年9月、2011年3月)を予定。

2. 6 情報考古学会会則の見直しについて 会計年度などに関し、学会会則の見直しを行い、9月までに改定案

を作成することとなった。

2.7 情報考古学会誌執筆要項の見直しについて 学会誌執筆要項の見直しを行うこととなった。

2.8 その他 学会誌「情報考古学」の会費の納入方法（銀口座引き落とし、郵便振替用紙の印刷）について検討した。

2010 年度第 2 回理事会議事録

日時：2010年3月27日

1. 報告

1.1 情報考古学会後援の件 「人文科学とコンピュータ」の研究会からの後援依頼の件を了承した。今後は「人文科学とコンピュータ」等、他の学会などと共催でシンポジウム・大会を開催することも視野に入れる。今後の他学会からの後援依頼については、会長判断とし理事会には事後報告するものとする。ただし、共催依頼の場合は理事会で検討する。

1.2 HPの全面改定の件 情報考古学会の従来のHPの情報を取捨選択し、HPを新しいものとする、担当は広報担当の佐藤理事。

1.3 その他 1.3.1 学会誌「情報考古学」について 年内に学会誌「情報考古学」2号を出す予定で編集を進める。論文投稿先は編集長あてとする。

1.3.2 会報について 12月発行予定の会報で次回大会（3月）案内と発表者募集を行う。大会プログラムの発送は2月を予定。12月末を論文締め切りとし、論文には査読者を付ける。来年度のシンポジウムに関しては、開催時期、開催校が決まった段階で会員に案内を発送する。

1.3.3 学会の英文表記のロゴ「JSAI」について JSAIのロゴを変更する方向で佐藤理事が検討する。

2. 審議事項

2.1 理事の役割確認 理事の役割分担を再確認した。大会発表の申し込み先はプログラム委員長とする。

学会誌への投稿が少ないので、増加のための検討を行う。

2.2 次回3月大会の開催校 次回大会を共立女子大学で3月19、20日開催の方向で検討する。ただし20日は大学が使用できない可能性があり、その場合は18、19日への変更、あるいは、19日のみで並行セッションで行うことも視野も考慮に入れる。共立女子大での開催が不可能な場合は統計数理研究所を予定。

2009 年度学会賞受賞者について

2009年度の日本情報考古学会賞が次の方々に決まり、3月27日開催の第27回大会（大阪大学）において授賞式が行われました。

日本情報考古学会賞

及川昭文（総合研究大学院大学）

日本情報考古学会堅田賞（優秀賞）

中谷友美（同志社大学）

なお日本情報考古学会論文賞については該当者はおりませんでした。

日本情報考古学会第 27 回大会報告

平成22年3月27日（土）、28日（日）の二日間、大阪大学において第27回大会を開催いたしました。大会参加者は47名、27日の夕方の懇親会の参加者は19名でした。なお、大会では以下の様な発表がありました。

<第一日目>

研究発表 1 13:00-13:20

接合資料作成のための石器隣接面検出アルゴリズムに関する検討

山原一輝（岩手大学大学院）

研究発表 2 13:20-13:40

土器製作者個人の高精度同定法の開発

中園聡・池平壮峻（鹿児島国際大学）

研究発表 3 13:40-14:00

土器製作者の個人内・個人間変異の検討
—北タイにおける民族考古学的調査から—

川宿田好見・平川ひろみ・黒木梨絵・中園聡
(鹿児島国際大学)

研究発表 4 14:10-14:30

南九州縄文早期土器の編年と遺跡内分布

泉さやか・高原裕介・中園聡(鹿児島国際大学)

研究発表 5 14:30-14:50

地域レベルでの遺物分布分析におけるバイアスの検出と
補正の方法について

近藤康久(東京大学・日本学術振興会)

研究発表 6 14:50-15:10

古代土器の産地問題研究における分析化学

三辻利一・中園聡(鹿児島国際大学)

研究発表 7 15:10-15:30

鉛同位体比による青銅器製作の過程の推測

吉田知行(北海道大学)

シンポジウム「炭素 14 年代法と箸墓古墳の諸問題」

15:40-16:00 炭素 14 年代測定 of 考古学利用

中村俊夫(名古屋大学)

16:00-16:20 炭素 14 年法と年代遡上論の問題

新井宏(前韓国慶尚大学招聘教授)

16:20-16:40 考古学から見た箸墓古墳の年代

関川尚功(榎原考古学研究所)

16:40-17:00 箸墓古墳は卑弥呼の墓なのか?

安本美典(元産業能率大学)

17:00-17:20 パネリストによる補足説明

17:20-17:40 質疑応答

— 懇親会 18:30-20:00 —

研究発表 8 10:00-10:20

御札の版木の3次元デジタル復元と版画作成への試み

河嶋壽一・小南卓也・所征伸(龍谷大学)

研究発表 9 10:20-10:40

木簡解読支援のための画像ビューアの試作

丹野勇哉・未代誠仁・中川正樹・馬場基・

渡邊晃宏(東京農工大学・奈良文化財研究所)

研究発表 10 10:40-11:00

中央アジアシルクロード都市遺跡に関するデータアーカイブとこれを用いた研究

山口欧志・宇野隆夫(国際日本文化研究センター)

研究発表 11 11:00-11:20

モンゴル国文化遺産のデジタルドキュメンテーション

山口欧志(同志社大学)

研究発表 12 13:20-13:40

「古韓尺」で作られた纏向大型建物群

—古墳築造企画論と尺度論の収斂に向けて—

新井宏(前韓国慶尚大学招聘教授)

研究発表 13 13:40-14:00

箸墓古墳と同時期の古墳の築造規格について

西村淳(函館大学)

研究発表 14 14:00-14:20

前方後円墳における墳丘形の考察

陪塚の位置情報に規制される主墳、及び古代中国式計算法による墳丘の体積計算

竹内啓二

研究発表 15 14:20-14:40

卑弥呼の宮殿は間違いではないか?

石井好(都立産業技術高等専門学校)

研究発表 16 14:40-15:00

箸墓は卑弥呼の墓か?

石井好(都立産業技術高等専門学校)

<第二日目>

特別講演 11:30-12:20

ピラミッドの三次元計測 佐藤宏介(大阪大学)

2010 年度日本情報考古学会シンポジウム報告

2010 年度の日本情報考古学会シンポジウム「発掘作業と情報管理」を10月9日（土）に京都工芸繊維大学において開催いたしました。プログラムは以下の通りです。

(1) 京都市内での発掘調査と発掘情報管理

宮原健吾（京都市埋蔵文化財研究所）

(2) 越前一乗谷朝倉氏遺跡での発掘調査と発掘情報

水村伸行（福井県立博物館）

(3) 遺跡の文化資源化についてー遺跡に関する情報の収集・管理・活用ー

山口欧志（国際日本文化研究センター）

パネルディスカッション「発掘作業と情報管理」

司会：宝珍輝尚（京都工芸繊維大学）

パネラー：宮原健吾、水村伸行、山口欧志

なお参加者は29名でした。

「情報考古学」の論文募集

本学会の研究論文誌「情報考古学」Vol. 16, No. 2 は、第28回大会時に刊行・配布予定です。また、次々回大会時（9月）には、Vol. 14, No. 1 を刊行・配布予定です。多くの会員の方からの投稿をお待ちしております。投稿に関するご連絡および投稿は、下記の会誌編集委員会委員長までお願いいたします。

連絡先：

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎御所海道町
京都工芸繊維大学大学院工学科学研究科
情報工学専攻

寶珍輝尚(会誌編集委員会委員長)

Email: hochin@kit.ac.jp

Tel: 075-724-7634, Fax: 75-724-7400

事務局変更のお知らせ

2009年4月1日より、学会事務局を下記のように、同志社大学文化情報学部津村研究室から村上研究室に変更いたしましたのでお知らせいたします。住所は同じですが、電話番号、Fax番号、E-mailが変わりました。

〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷1-3
同志社大学文化情報学部
情報考古学会事務局（村上研究室）

Tel&Fax : 0774-65-7681

E-mail : mamuraka@mail.doshisha.ac.jp

会費納入のお願い

平成22（2010年度）会費未納の方は納入をお願いいたします。未納の方には「会費納入のお願い」の紙に、未納年度が記載されております。もし記載間違いがございましたらお手数ですが事務局へご連絡願います。



パネラー



パネルディスカッションの様子

ます。なお振込口座は以下となっております。

銀行名 南都銀行 京田辺支店
普通口座 0301986
口座名 日本情報考古学会事務局

会報への広告掲載について

日本情報考古学会報に、今後も継続的に広告を掲載し、会報の郵送費等に当てることができると考えております。会員の皆様もお心当たりがございましたら、ご紹介下さい。

k

講演論文集バックナンバーのご案内

日本情報考古学会は、2010年で15周年を迎え、多くの会員の方にご協力をいただき、20回の大会を開催して参りました。これまでの大会では、一般講演・特別講演の方々のご報告内容を、発表要旨集という形で大会参加者に配布させていただいて参りました。そうしたなかで、学术界にもおよぶ近年の成果主義の風潮もあり、発表要旨ではなく、学術的査読を行った講演論文集にして広く研究成果を問いたい、という声が寄せられることが多くなりました。

そこで、今後の学会活動をさらに活発に行うため、21回大会から、講演論文集としてリニューアルをいたしました。次回28回大会では、講演論文集 Vol. 16を発行予定です。講演論文集は、会誌『情報考古学』と両輪をなし、皆様のご協力で、優れた・新しい研究成果の公開の場として発展させていきたいと考えております。

また、講演論文集のバックナンバーにつきましては、学会事務局で取り扱っております。研究発表大会にご参会いただけない会員の方々には、1500円にて配布させていただいております。

日本情報考古学会会報 No. 27
発行 日本情報考古学会事務局
2010年12月21日
〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷1-3
同志社大学文化情報学部
情報考古学会事務局
Tel/Fax: 0774-65-7681
E-mail: mamuraka@mail.doshisha.ac.jp